

# 一 般 質 問

## 山田議員

### えちぜん鉄道の市街地 乗り入れについて

問 来年度に策定されるえちぜん鉄道の「地域公共交通総合連携計画」では、駅を中心としたまちづくりも検討される。そこで

- ①電車を勝山市街地に乗り入れた際の「駅を中心としたまちづくり」を勝山市総合計画でも検討して位置づけるべき。
- ②市街地乗り入れのための調査を連携協議会で提案すべき。

答 ①LRV化が見えた時点でその検討に入るといことは入れても良いと思う。

②市街地乗り入れについては、長期的な課題の一つとして検証し、勝山線のLRV化が見えた時期に沿線自治体等とコンセンサスを図りながら提起していきたい。

### 総合体育館について

問 市長は中学校を1校にして総合体育館を建設するといつが

- ①中学校を使えば体育館やトレーニング室等は十分充足し、狭いが国体の競技も開催できる。
- ②総合体育館建設にこだわらず、大会派遣費の全額補助や、学生合宿のトップ選手や指導者によ

その他の質問

・福井社会保険病院の公的存続と当面する課題について  
・上水道の漏水の負担のあり方について  
・地域経済対策について

る講習、交流試合など、知恵を絞って体育振興を検討すべき。

答 ①素案で示した中学校跡地での建設の場合、空き校舎は会議室等に活用したい。さらに中学校の体育館では国体のバドミントン競技の開催基準に合致しない。②新しい体育館の整備により、トップアスリートの競技に多くの市民が直接触れあい、それがさらなる体育の振興につながるものと確信している。



## 乾議員

### 2世帯住宅への増改築の 助成について

問 当市に定住する若者への住宅助成制度がある。親の住宅である本屋と廊下でつないだ新築等が助成対象となっている。

仕事の関係で福井方面に家を建てたい実情はあろうが、お互いに干渉されることがない住環境であれば、それは親も子も、また孫を育てるためにも理想の住み方である。

ただ、この制度は食事や風呂が別々であっても2階を増改築し1階に親が住み、2階に子ども世代が住むといった2世帯住宅の場合には対象にならない。土地があれば隣接して新居が建てられるが、土地が狭隘な場合、上に伸びるしかない。特に市街地においてはこのような事例が多いと思われる。

双方の違いは、廊下でつながる階段を上がるかだけで2世帯住宅の生活スタイルは同じである。こういった住宅の増改築についても助成すべきと考えるがどうか。

答 定住化促進事業の趣旨は、「勝山市に転入し、定住したい」、「市内で自分の家を持ちたい」という方の支援を目的としているも

その他の質問

・採石、山土採取による景観破壊と回復について  
・観光振興について  
・民俗的生活用具の収集の現状と分析及び活用について

のであり、既存住宅を2世帯住宅に改修する工事に対しての補助内容とはなっていない。

しかし、2世代が同じ家に住み、若者世代が勝山市に定住することは非常に重要なことと認識している。

今後、2世帯住宅の増改築に対する助成については、どのような課題があるのか整理する中で、前向きに検討していきたい。

